



## こどもをまんやかに

ご入園、ご進級おめでとうございます。

うぐいすの声も聞こえ始め、線路沿いの桜も見ごろを迎えています。

今年度より小屋浦みみょう保育園の園長を務めさせていただきます柳楽 薫と申します。至らないところも多々あるかと思いますが、よろしく願いいたします。

さて、新年度は新入園児4名を迎え、進級児33名とともに37名でスタートします。

世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の対応に追われている日々ですが、子ども達と一緒にできる限りの予防対策をしながら普段通りに「たのしい保育」を進めていきたいと思っております。保護者の皆様にもこれまで同様、検温・健康チェック表の記入などのご協力をお願いいたします。

当園では『感謝と思いやりのある自主的な行動のとれる子』を育てることを保育理念としています。これには、「0歳からの幼児教育」に視点を置き、赤ちゃんの頃からしっかり可愛がられ、声をかけてもらい、普通の愛情で満足することが土台となります。大人から与えられた安心感や信頼感が自分の存在に対する自信となっていきます。これが「やる気」の原点になったり、友だちを求める気持ちに繋がります。成長する中で楽しい経験や時に痛い、悲しい、悔しいというマイナスの経験を乗り越えていく中で人との付き合い方や我慢したり、自分の気持ちに折り合いを付けることを学び、自分以外の人も認めることで感謝や思いやりの心が育っていくのだと思います。

新しい環境の中で、自分の思い通りにいかないことで気持ちがイライラして、自分

の気持ちをコントロールできないこともあるかと思っております。園生活になじみ、集団生活の中で気持ちを安定させ、意欲的に園生活を楽しむには、まず生活リズムを整えていくことが大切です。生活リズムをつけることが生活習慣の自立の習得につながっていきますので、ご家庭でも出来るだけ子どもたちの様子に合わせて声かけや援助をしていただきますようにご協力をお願いいたします。園でも、一日も早く子どもたちの気持ちが落ち着くように、子どもたちの目線に立ち、保育園が楽しい、安心できる場所となるように環境を整え、工夫していきたいと思っております。

今年度より、保育園で過ごすお子さんの様子を連絡アプリ“きっずノート”で写真や文章で配信し、「保育の見える化」を実施していきたいと思っております。情報公開、情報交換していくことが保護者の皆様の安心に繋がっていくと思っています。

保育園で子どもたちがどんなことに興味を持ち取り組んでいるのか、そのあそびがどんな風に広がり、つながっているのかなどあそびの中で子どもが学んでいくのだということを保護者の皆様にも一緒に感じていただきながら、ご理解ご協力をいただき、家庭と保育園が連携をとり、「こどもをまんやかに」という思いで子育てをしていきたいと考えています。

4月は“出会い“がたくさんあります。その“出会い”で見つけたもの、この時期にしか出会えないものを子どもたちとともに、わくわくしたり、ドキドキしたりすることを楽しみたいと思っております。一年間よろしく願いいたします。

園長 柳楽 薫